

過日内申改於改進黨及除名等之候付集會之
系候有一點同候或申候別候之通據等以付
御参考と侍電覽也

明治七年十二月三日 大迫純三記

三條太政大臣殿

明治十七年三月廿一日午前九時より神田中根柴町五番地ニ於テ改進黨

臨時會ヲ開ク該會況ヲ記シテ後ニ述ベル

本日開會セル者 沼田守一 藤田茂吉 島田三郎 其浦晴人 中野武吉 角田真平 鈴木良輔
肥後龍 香木三郎 森田文三 尾崎行雄 小幡篤持 元凱 持野元吉 法久剛長 四郎 田野 官
成造人外之 坂元盛得 成野克孝 島橋甚吾 六嶋正生 寺家村 進雄 越賀豊太郎
大島和之助 如藤誠平 藤田春彦 島橋良 渡邊聖三郎 菊地三郎 島橋和郎
新橋貞吉 柳屋盛徳 川島尚徳 宗像邦起 林隆三郎 秋屋清太郎 志摩正太郎 宮本
藤田 枝原辰雄 其他十九名
余ハ開會者ニ於テ開會ノ理由ヲ述ベテ其ノ旨ヲ改進黨ニ提呈スルニ及ビテ是レノ時
澤村嘉善 澤村嘉高 澤村嘉三 澤村嘉四 澤村嘉五 澤村嘉六 澤村嘉七 澤村嘉八 澤村嘉九 澤村嘉十
澤村嘉十一 澤村嘉十二 澤村嘉十三 澤村嘉十四 澤村嘉十五 澤村嘉十六 澤村嘉十七 澤村嘉十八 澤村嘉十九
澤村嘉二十 澤村嘉二十一 澤村嘉二十二 澤村嘉二十三 澤村嘉二十四 澤村嘉二十五 澤村嘉二十六 澤村嘉二十七 澤村嘉二十八 澤村嘉二十九 澤村嘉三十

出野云 余ハ其浦ト俱ニ建議人トシテ改進黨ニ加入シタル以上ハ自今總務ヲ司スルニ就ク

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

出野云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

澤村云 建議ヲ決スル前ニ開會ニ於テ議決シタルハ余等ノ對テ勸力ノ有無ヲ討議ス

明治十七年十二月廿一日午前九時、神田中核栗所五番地ニ於テ改進黨臨時會ヲ開キ該黨況ヲ記シテ議決ス

- 本日相會ニシテ者 沼向守一 藤田茂吉 島田三郎 美浦勝八 中野武吉 角田真平 鈴木良輔
- 肥塚龍 青木三 森田文三 尾崎行雄 小嶋元吉 持野元吉 佐久間長四郎 田野 寛
- 渡邊入矢 坂元盛得 浅香克孝 島橋庄右衛門 大畑庄左衛門 寺家村逸雄 鏡賀豊太郎
- 土屋郁之助 加藤凱手 藤崎冬吾 秀島家長 波多野三郎 南越三 島梨塔四郎
- 島橋周彦 植屋盛源 明馬尚經 宗像禎起 秋葉節三郎 秋庭清太郎 志摩万次郎 沼本
- 純朝 枝元辰辰其他十六名

沼間藤田其海島田諸氏發起ニ本諸君ヲ招會スルニシテ右發起者ヨリ何等ノ決議ニシテ
 藤田云 先ツ我ニ議事ヲ開クニ先立テ會頭ヲ撰舉スルニ其撰舉法ハ投票ヲ可トスルカ指名ヲ可トスルカ諸君指名
 ナリトセラルルニシテ余余沼向氏指名ス
 滿堂異議ナリ可ク
 中野云 余余沼向氏指名ニ建議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ
 黨事ヲ置テ故改進黨内規第一條ヲ廢シ更ニ先ノ二條ヲ以テ第一條ヲ置テ黨事務委員七名ヲ置キ其中
 ナリ投票ヲ指名ニシテ第二條事務委員ハ黨員多數ノ同意ヲ取リ投票ヲ以テ之ヲ撰任スルニ其任期ヲ六月ト定ム
 七月ハ先會ヲ以テ改進黨ノ期限ヲ但先會ノ同意ニ其投票ヲ事務所ニ送致スル
 鈴木云 建議ヲ夫レ前ニ當會ニ於テ議決スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ
 志摩云 全党決議ヲ廢シテ八無効ト云フニ殊更余余沼向氏指名ニ建議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ
 島田云 前説ヲ贊成スルニ在東京ノ專斷ヲ以テ議決スルハ必ズ地方員ニ不滿ノ鳴スル
 恒屋云 先レ今會ニ除名一件ハ入史書ナリ然レニ當會ニ於テ決議スルハ必ズ地方員ヲ蔑視スルニ似テ余余前
 説ノ同意ス
 沼向云 去年九月改進黨ノ警察署ヲ認可スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ

効ニシテハ當會ノ向有効ト成ルニ不可ナレ事ナリ也
 志摩云 十五年臨時會外則チ一テ當會ハ大ニ異ナリ公率ニ全党員ト討議アリシマシム
 島田云 細細細事ナリ事件ハ當會ニ於テ決議スルニ効ナリ也
 藤田云 投票上ヨリテモ見タルハ細細細事ナリ事件ナルカモ知ラレシ改進黨ニ執シテハ所謂憲法ナレハ豈ニ細々
 云フハナンヤ
 沼田云 日次會ヲ待テ決議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ余余沼向氏指名ニ建議スルニ
 決議ニ追テ地方員中不同意アラハ内規事項ニ由リ日次會ニ異論ヲ提出シ改正ヲ乞フテ可ナリ故ニ余余當會
 職スルヲ可ナス
 青木云 依リニ當會ハ事務委員七名ヲ撰舉シ党務ヲ料理セシメ後ニ地方党員ニ通知シ六十日限ニ全党員ノ可否ヲ問
 決議スル

改元云 依リニ事務委員ヲ置キ党務ヲ司ラシムルニ
 志摩云 黨事申申田口除名ニシテモ未ダ小野春木カ在ハ八更ニ全党員ノ議決ヲ經テ近事務委員ハ要セザルニ
 中野云 春木ハ敬告署ニ届出ラレタ既ニ除名ヲ申込シ小野春木カ在ハ八更ニ全党員ノ議決ヲ經テ近事務委員ハ要セザルニ
 除名スルニシテモ未ダ小野春木カ在ハ八更ニ全党員ノ議決ヲ經テ近事務委員ハ要セザルニ
 沼田云 議論紛議ニ涉リ決メテ迷惑ナシハ注意シテ簡草ニ説テ迷ハシム
 藤田云 法律上敬告署ノ手續ヲ被ルハ八日モ黨事トカ事務委員トカ細スル者ナレハ成ラレ故ニ
 會ニ事務委員ヲ撰定スル
 肥塚云 當會ニ於テ決議スルニ一ハ無効ナリト云フハ寧ロ會議セサルニ如カス故ニ當會ニテ依リ事務員ヲ
 任シ後日全党員ノ會議ヲ催シ更ニ決議スルヲ可トス
 沼田云 紛議ニテ決メテ難シ故ニ先レ志摩氏ハ當會ニ決議ヲ無効ト成ルニ同意スルハ右手ヲ揚アラシム
 沼向云 同意ナキニ依テ消滅ス
 沼田云 當會ニ依リ事務員七名ヲ撰任スルニ内規ニモ依リ決議シ來ルニ二月十日至ニ全党員大會議ヲ僅
 決議スルニ決議シタル議事ヲ面議ニ付シ多數ノ同意ニ依テ當會ニ決議ヲ有効ト定ムル

沼田云 議論紛議ニ涉リ決メテ迷惑ナシハ注意シテ簡草ニ説テ迷ハシム
 藤田云 法律上敬告署ノ手續ヲ被ルハ八日モ黨事トカ事務委員トカ細スル者ナレハ成ラレ故ニ
 會ニ事務委員ヲ撰定スル
 肥塚云 當會ニ於テ決議スルニ一ハ無効ナリト云フハ寧ロ會議セサルニ如カス故ニ當會ニテ依リ事務員ヲ
 任シ後日全党員ノ會議ヲ催シ更ニ決議スルヲ可トス
 沼田云 紛議ニテ決メテ難シ故ニ先レ志摩氏ハ當會ニ決議ヲ無効ト成ルニ同意スルハ右手ヲ揚アラシム
 沼向云 同意ナキニ依テ消滅ス
 沼田云 當會ニ依リ事務員七名ヲ撰任スルニ内規ニモ依リ決議シ來ルニ二月十日至ニ全党員大會議ヲ僅
 決議スルニ決議シタル議事ヲ面議ニ付シ多數ノ同意ニ依テ當會ニ決議ヲ有効ト定ムル

石間云 尾崎氏、説明あり先々事務委員七名ヲ置キ來ル二月十五日大層ヲ開キ當會ニ於テ議決シタル内規ヲ

衆ニ示シ大會ニ確定スル説ニ同意スルハ右手ヲ揚ケラレヨ

是ヨリ進テ改進黨内規ヲ議決スル先々第一條ハ如何

野云 改革務委員ヲ設ルハ自然此條ハ消滅シクルモノト云ベシ

門島云 當時總理ヲ要セザルモ後來我黨ノ運動スルハ至テハ必要ナルモノナレハ空位ニシテ存セラレシム

望云

内規第一條ヲ廢止説ニ同意スルハ右手ヲ揚ケヨ

過半數ノ同意ヲ付可決ス

第一條ハ如何

衆云 一條ヲ廢シタル以上ハ此條モ自然消滅スベシ

野云 改革務委員ヲ設ルハ自然此條ハ消滅シクルモノト云ベシ

門島云 當時總理ヲ要セザルモ後來我黨ノ運動スルハ至テハ必要ナルモノナレハ空位ニシテ存セラレシム

沼間云 尾崎氏説明略シ先々事務委員七名ヲ置キ米二月十五日大會ヲ開キ當會ニ於テ議決シタル内規ヲ

米二月大會ニ決定スル説同意人ハ右手ヲ揚ケラレヨ

同 是ヲ進テ改進黨内規ヲ議決スル先々第一條ハ如何

朝云 仮事務委員ヲ設ケハ自然此條ハ消滅シクルモト云フ

同馬云 當時總理ヲ要シタルモ後來我黨運動スルニ至テハ必要ナルモノナラハ空位ニシテ存セラレシヤ

望ム

沼間云 内規第一條ヲ廢止説ニ同意人ハ右手ヲ揚ケヨ

過半数ノ同意ニ付可決ス

同 第二條ハ如何

森田云 一條ヲ廢シタル以上六比條モ自然消滅スル

尾崎云 内規第一條ヲ建議案第一條ニ第二條ヲ建議案第二條ニ更正アラシム

島田云 建議案第一條中「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

眞浦云 月次會「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
月次會「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
月次會「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

肥後云 一休「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
一休「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
一休「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

沼田云 建議案第一條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
建議案第一條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
建議案第一條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

曰 第三條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

中云 但「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
但「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
但「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

藤田云 「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

沼田云 前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

曰 第四條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
第四條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
第四條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

曰 第一條「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

眞浦云 但「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
但「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
但「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

小島得云 從前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
從前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
從前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

中野云 東京「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
東京「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
東京「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

島田云 地方「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
地方「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
地方「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

沼田云 眞浦氏「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
眞浦氏「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
眞浦氏「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

志麻云 前説「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
前説「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
前説「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

沼田云 從前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
從前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」
從前「凡」月次會「改」其他前説「賛成」

このコマには文字の不
鮮明な部分がありますか
ら下記の原本をみて下さい

請求番号

2A 1 別 9

肥後云 本規ヲ改定セトスルハ特別ニ告知スルノ覺メ多数ニ依リ議定スルハ改定アリ

前中云 本規ニ從前通シテ可トスル何トシテ是近月次會キ出席者トシテ今面公其改
正議アリラシト思ヒ出席者トシテ人アルトシテ前議ノ如ク改定シ特別ニ告知スルハ
トスルハ在出席者人勿ルハ本年九月次會ヲ重ク視テ改定スルハ主ニ其意アリ

福岡云 肥後ノ改定ノ意ハ在出席者トシテ上ケラレヨ

四規ノ議決スルハ會則ノ別ニ議スルハ則ニ意見アリト述ベテ

藤田云 會則ノ別ニ會長ノ會員等ノ之ヲ推薦スト更ニ之ヲ可トス

福岡云 藤田ノ改定ノ意者右ノ上ケラレヨ

過半数ノ意アリ可トス

四規ニ三三則ハ如何

既ニ本規會則ノ議決スルハ後中野島田尾崎
若七名多数ニ依リ改定スルハ會員等ノ之ヲ推薦スト更ニ之ヲ可トス

若七名多数ニ依リ改定スルハ會員等ノ之ヲ推薦スト更ニ之ヲ可トス

餘聞

本會ノ各員各例ニ檢定スルハ改定スルハ同レシテ本年十月十日

本會ノ各員各例ニ檢定スルハ改定スルハ同レシテ本年十月十日

このコマには文字の不
鮮明な部分がありますか
ら下記の原本をみて下さい

請求番号

2A 1 別 9

昨日二日築地新築町に丁目有一館ニ於て本年ノ閉場式兼相談會忘年會等ヲ開ク
令其景況ヲ畧記スル午前八時ヨリ駿河ヲ始メ同九時四十分頃佐藤貞幹表裏直樹
小勝俊吉以下二十三名來會總員凡ソ四十名ナリ同上時三十分駿河ヲ止茲ニ閉場
式終ル午飯ヲ喫シ十二時三十分ヨリ相談會ヲ開ク各自着席スルヤ表裏直樹ハ衆ニ對シ
演説シテ曰ク今日日清韓ノ變機ニ方リ實ニ我國ハ危急存亡ノ秋ナリ如斯大事アルモ
我々人民ハ其處置ニ付是非曲直ノ如何ヲ迷ハズハハナリ國民ハ社テ國民ニアラサル如ク
是迄外交上關スル事變ナリト雖モ其處置ニ居ケル我々人民ニ満足ヲ與ヘラレサルナリ切
齒近取ニ耐ヘス令暇并上外務卿ハ右談判ノ為メ一瞬隊ノ兵士ヲ率テ朝鮮ノ出發セラレタ
ルカ必ラス知息處分ヲナスニ至ラン此ハ暫ク措ク諸君ニ言セント欲スルモアリ他ナリ
令々外患ニ際シ政府ニ際スルモ之ニ付込安リニ厥カヲ振テ等一ニ及フカハ寡人ニシテ
目的ヲ達セント欲セハ必ス過テテ嚴重ニ思慮ヲ爲知ニ隱ク登履ヲシテ居ルニシテ
物ヲ達スルハ道ニヨリテ總理ニモ深ク思慮ヲ爲知ニ隱ク登履ヲシテ居ルニシテ
是月重シク事變ノ變機ニ付テハ利害得失ヲ議テ之ヲ止メ同志ノ義務ナリ
處ナリテ爲リトスル者アルヲ聞知シハ懇ニ利害得失ヲ議テ之ヲ止メ同志ノ義務ナリ
實ニ我々ノ目的ヲ達スルハ永キニ非ラズ諸君耐志メヨ云々トテ率ニ演説スルモ之ニ對シ
異議ニ答ヘ者ナシ同贊成シテ一時半分相談會ヲ閉テ同日未會ニハ東京在住者多
シ其他ト業縣ヨリ須藤龍洲石田直吉群馬縣ヨリ石澤新本縣ヨリ波谷政十郎神奈川
縣ヨリ石坂岳石内崎玉縣ヨリ黒田某等ナリ
大ニ午後二時過一同擊劍場環列酒宴ヲ開ク此時西繁ハ館長ニ代リ閉場式ノ旨意
ヲ述ベ次ニ坂崎斌ハ日清韓事件ニ付諸君ハ何等ノ思想ノ懷々開戦ニ暇其望スル所ナ
リ此後漫ク又昨政府ハ俄ニ對シテ談判ニ付テハ相違ナク知見ナリテ其
容ニ不満足ノ高ヲ結ブナリ果シテ然ス諸君ハ如何ノ手段ヲ以テ現政府ヲ責ルヤ言論
自由ヲラリ我々人民ハ之ヲ責ルニ道ナカレバ否責ハ唯ハアリ然レモ明言スル莫ク諸君
中ニ何ノ如何ニ外交上ハ機密ヲ要スルモ令暇ノ如ク大事ヲ知ラレバハ何事ソヤ諸君和
否未ク新聞等ニ出ガレ其外務卿ハ特命全權大使トナリ樺山島島西少將及三快隊

昨日日榮地新榮町に自有一館ニ於テ本年開場式兼相談會忘年會等ヲ開ク

令其景況ヲ略記スルハ午前八時ヨリ擊劍ヲ始メ九時四十分頃佐藤貞幹亦收直樹

ハ勝後吉以下二十三名米會終負凡ソ四十名ナリ同土時三十分擊劍ヲ止メ茲テ開場

式終ニテ飲ヲ喫シ十二時三十分ヨリ相談會ヲ開ク各自着席スルヤ赤松直樹ハ衆ニ對シ

演説シテ曰ク今日日清韓ノ變機ニ方リ實ニ我國ハ危急存亡ノ秋ナリ如斯ク大節アルモ

我々人民ハ其處置ニ付是非曲直如何ヲ迷ハズ能ハスルナリ國民ハテ國民ニテラサレ如ク

是道外交上ノ関心ヲ事變ナリハ國民其處置ニ居ケル我々人民ニ満足ヲ與ハラシムルナレバ切

實に朕ニ耐ヘズ今朕并上外務卿ハ右談判ヲ為シ一聯隊兵士ヲ奉テ朝鮮ノ出發セラレシ

ルカ必ズハ如是處分ナラズニ至ラン此ハ暫ク措キ諸君ニ言ヒテ欲ハスルモアリ他ナシ

今ハ外患ニ際シ政府ニ際スルモ之ニ付迄安リニ朕カヲ振テ等一ノ及クカニ寡人ニシテ

目的ヲ達シテ欲ヘハ必ズ過ナラズ朕茲次城崎ニ在リ決シテ輕率スベカラズ我々ハ目

的ヲ達シテ近キニシテ總理トモ思慮ナリ島知ニ傳ヒテ登壇ナリシ諸君ニテアリ

ハ其動カシテ言ハシムル者ナリテ聞知スル怨ヨリ利害得失ヲ説ク之ヲ止メヨ同志義務ナリ

實ニ我々ハ目的ヲ達スルハ永ク非ラズ諸君耐忍シヨ云々一ノ演説ニテ之ニ對シ

異議ノ容ニ者ナシト同賛成ニシテ時早ク相談會ヲテ今日米會ニシテハ東京在住者

ノ其他千葉縣ヨリ須藤龍州石田直吉群馬縣ヨリ石澤則矩本縣ヨリ波谷政一即仲余川

縣ヨリ石坂岳石崎崎五縣ヨリ黒田某等ナリ

大ニヨリ午後二時過ニ同擊劍場壞列酒宴ヲ開ク此時田繁ハ館長ニ代リ開場式ノ旨意

ヲ述ベテ後寄稿日清韓事件ニ付諸君同等ノ思想ヲ懷ク開戦ハ一般冀望スル所ナ

レハ緩漫ナシ支那政府ハ彼是ニ事ニ托シ談判ノ日ヲ延スニ相違ナク又ノ如息ナシ我政府ハ之ヲ

容テ不満足ノ高ク結ブナラカ果シ然ラズ諸君如何ノ手段ヲ以テ現政府ヲ責メテ言論

自由ナラシムル我々人民ハ之ヲ責メテ道ナカレバ否責ニ唯ニアリ然レモ明言ニシテ諸君胸

中ニ向テ如何ニ外交上ノ機密ヲ要スルモ今朕ノ如ク大事ヲ知ラレバハ何事ナヤ諸君知ヤ

否未ク新聞等ニ出サレバ井上外務卿ハ特命全權大使ナリ樺山島島西少將及ク三伏隊

其ノ引率ニ朝鮮國ノ向テ業ニ既ニ出祭セリ我々志士ノ務正ニ此時ニアリ諸君登祭ス
 云々ト其ハ活祭トシ演説アリ此時三時止分ナリシカ後ニ米館スル者アリテ遂ニ惣員五十七名
 共ニ夫レヨリ献酬一同辭ノ尽ニ歡ヲ尽ニテ退散スルハ午五時五分ナリト

朝鮮ニ於テ癸亥十二月廿三日

兵ヲ引卒シ朝鮮國へ回テ業ニ既ニ出祭セリ我々志士務正ニ此時ニアリ諸君奮發セシ
云々ト悲壯浴祭ナル演説アリ此時三時止分ナリシガ追々來館ス者アリテ遂ニ惣員五十七名
トナリ夫レヨリ献酬一同醉ヲ尽シ歡ヲ及ヒテ退散セシハ午前五時五分ナリト

明治十七年十二月廿三日

改道亮負等本月十日并生村梅三集會
同會之漢語人書之奉狀列下之通様
付電覽也

明治十八年二月十九日

大田陸軍總監

三條大政大臣殿

御
視
願

改進黨總理大隈其他重臣二十餘名於七月三日臨時會中
內規校法之討論進德威刑陣ヲヤセカキ有外遊外他之
八月二十日此日地方係南ノノ次ノ其方有地遊遊之函
件清平井村田有 多事後者三月十日記之之想スル
官長野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野

改進黨綱領修正草案
第一章 改進黨事務委員會七名爲之定
第二章 改進黨事務委員會之職權
第三章 改進黨事務委員會之組織
第四章 改進黨事務委員會之任期
第五章 改進黨事務委員會之經費

但此項臨時會及七月八日大會之臨時會於
補欠員之選舉之次改進黨之待更選スル
第二章 改進黨事務委員會之職權
第三章 改進黨事務委員會之組織
第四章 改進黨事務委員會之任期
第五章 改進黨事務委員會之經費

第四章 改進黨事務委員會之任期
但此項臨時會及七月八日大會之臨時會於
補欠員之選舉之次改進黨之待更選スル
第二章 改進黨事務委員會之職權
第三章 改進黨事務委員會之組織

第二章 改進黨事務委員會之職權
第三章 改進黨事務委員會之組織
第四章 改進黨事務委員會之任期
第五章 改進黨事務委員會之經費

第四章 改進黨事務委員會之任期
第五章 改進黨事務委員會之經費

本國相厚之者經閣等一皆南洋吉置勝勝人尾崎行雄中此武安由具中島田三郎肥塚
能秀島島長森田文雄枝元長根大田有造北官恒原盛服川島田中正造
常原吉右衛門松岡洋次郎折原元吉近藤由次木暮實次郎荒井素浪星野龍男星野
郎高橋社右衛門松田三郎櫻井實憲幸南雄三島利哲四郎青木匡波多野信之
新藤正三郎大森義典秋篠波多郎給予良輔若田昇海外四十三名
此日臨時會及七月八日大會之臨時會於
補欠員之選舉之次改進黨之待更選スル
第二章 改進黨事務委員會之職權
第三章 改進黨事務委員會之組織
第四章 改進黨事務委員會之任期
第五章 改進黨事務委員會之經費

このコマには文字の不
鮮明な部分がありますか
ら下記の原本をみて下さい

請求番号

2A 1 別 9

藤田云 第一條 但書ハ第三條ノ但書ニ為スヘキヲ補遺セタルハ左様承知アルベシ

秀島云 第一二三四條ハ多少ノ動議アルモ原案賛成者多數ナルヲ以テ原案ニ決ス

島田云 第五條ノ大會ハ毎年何月トアルヲ四月ト定ムルヲ望ム

肥塚云 地方ニ在テハ縣會或ハ養蠶等ノ都合モアルバ四月第一ノ日曜日ト定ムル

秀島云 肥塚ノ同意者過半数ナル故ニ同説ニ決ス

箕浦云 第六條地方党員ヨリ郵送トアルヲ提出ト修正シテ何トナシハ郵送トアルハ郵便ニ限ルル如クニ見エ

レバトリ

島田云 出席會員ヨリ提出スル丁ニ修正ヲ望ム

秀島云 島田ノ説ニ賛成者多キヲ以テ此修正説ニ決ス

島田云 七八九條ハ別段意見アルベキ筈ナケレハ連帶シテ決議アラント望ム

秀島云 七八九條ハ異議ナケレハ原案ニ決ス

恒屋云 第十條會議トアルヲ大會ト修正ヲ望ム

秀島云 十條ノ原案賛成者多キヲ以テ原案ニ決ス

中野云 内則一項ノ説明ハ我党創設ノ際地方ニ支部ヲ置ク見込ニテ在京員ノ地方員ノ區別ヲ立テシ

モノトシテ彼ノ黨會條例ヲ為シ支部ヲ置クヲ得サレハ地方在京ノ別ナク元資金壹圓ヲ納シラント望ム

門馬云 予ハ從前ノ通り地方党員元資金ハ矢張五十錢ト改メタル

中野云 我党創立以來昨年十二月迄元資金ノ收入高一十四百一十四圓餘同支出高一十二百五十三圓餘ニシテ

出入相償ハ會計維持ニ難シ様ナレハ大隈其他ノ諸氏ヨリ千円餘ノ寄附ヘアリシ為メ會計上大都合ナ

カリント雖モ今日所ニテハ三百六十圓ノ不足ヲ生シタリ然レニ現今黨員千八百六十名アリ悉ク元資ヲ納ル

ハ是非原案ニ賛成アリタル

秀島云 原案賛成者多キヲ以テ原案ニ決ス

同 二項ハ異論者ナレ依テ原案ニ決ス

島田云 三項中二十五錢ヲ三十錢ニ修正アリタル

大養云 同項ハ從前ノ通り會費五十錢ト定メ出席者ノミ出スルニ決シタル

秀島云 原案及ヒ西修正説共ニ賛成者同數ナレハ本條ハ確定議ニ廻スベシ

同 第四五項ハ異議ナキ故ニ原案ニ決シ彙テ確定議ニ遷ルベシ

大岡云 規約十條中大會議ニ於テ出席員過半数ト改正シ但書ヲ加ヒ非常ノイアルハ月次會若クハ臨時

會ニ於テ改正スルヲ得ト修正アラントヲ建議ス

秀島云 大岡ノ建議説ニ賛成者多キ故ニ同説ニ決ス

大養云 内規三項ハ前説ノ如ク決ヒラレトヲ建議ス

秀島云 大養ノ説ニ同意過半数ナレハ出席者ノミヨリ會費金五十錢ヲ取リ立ルニ決ス

島田云 予ハ九ノ三項ヲ建議 第一本年ハ當會ヲ開キタルハ四月ノ大會ヲ開ガルト 第二從前ノ會則ヲ全廢ス

ルト 第三當會ニ於テ事務委員ヲ投票スルト

秀島云 島田ノ建議説ニ異議ナキヲ以テ同説ニ決スヘシ依テ事務委員ノ投票ヲセラレヨ

同 事務委員ハ沼間藤田島田箕浦尾崎中野肥塚ノ七名投票多數ナルヲ以テ右七名ニ決ス

爰ニテ會議モ一タレハ更ニ懇親會ヲ開ク 席上談話

島田云 今田地方員ノ上京アリシヲ幸ニ豫テ余カ希望シ居ル我党ノ統領ヲ増加シ更ニ會ヲ開キ廣ク傍

聴ヲ許シ我党ノ秘密ニ事ヲ議ヒガルトヲ世上ニ示シ傍ヲ運動ノ方ヲ附ケ亦我改進党ノ大演說會ヲ開

キ党首ヲ伸張シタル

沼間云 規約ヲ議スルヲ多少ノ時間ヲ費スニ統領ヲ討議スルキハ十餘日モ掛リ遂ニ解散等ヲ命セラレト

ラハ我党ノ體ナリ依テ廢スベシ亦演說會ハ改進黨ノ資格ナレハ不同意ナレト党員ノ資格ヲ以テスルナレ

ハ同意ナリ仍テ演說會ハ米ル廿二日ト定メ會主ハ中野南箕浦島田ノカ然ルベシ

南云 島田ノ演說禁止中ナレハ會主トナルハ集會條例ニカテウ様ニテ宜シカラサルハ同人ハ除クベシ

藤田云 地方党員ノ其地ノ党勢ヲモ承リ度クハ明后十七日事務委員ヲ召集シ酒宴畢テ午後十時開キ

藤田云 第一條、但書ハ第三條、但書ニ為スヘキヲ補遺スルハ左様承知アルベシ
秀島云 第一二三四條ハ多少ノ動議アルモ原案賛成者多数ナルヲ以テ原案ニ決ス

島田云 第五條ハ大會ハ毎年何日トアルヲ四月ト定ムルヲ望ム

肥塚云 地方ニ在テハ縣會或ハ養蠶等ノ都合モアルハ四月第一ノ日曜日ト定ムル

秀島云 肥塚ノ説ハ同意者過半数ナラ故ニ同説ニ決ス

真淵云 第六條地方党員ヨリ郵送トアルヲ提出ト修正シテ何トシハ郵送トアルハ郵便ニ限ルカ如クニ見エ

六十一

島田云 出席會員ヨリ提出スル修正ヲ望ム

秀島云 島田ノ説ニ賛成者多キヲ以テ修正説ニ決ス

島田云 七九條ハ別段意見アルベキ者ナラハ速帯シテ決議ヲ行フヲ望ム

秀島云 七八九條ハ異議ナラハ原案ニ決ス

恒屋云 第十條ニ會議トアルヲ大會ト修正ヲ望ム

秀島云 十條ハ原案賛成者多キヲ以テ原案ニ決ス

中野云 内則一項、説明ハ我党創設ノ際地方ニ支部ヲ置ク見込ニテ在京員、地方員、區別ヲ立テシ

モノナラハ彼ノ舊會條例ヲ支部ヲ置ク得サレハ地方在京、別ナク元資金壹圓ヲ納シラシムルヲ望ム

門馬云 予ハ從前、通リ地方党員元資金ハ天張五十錢ト改メシ

此野云 我党創立以來昨年十二月迄元資金ハ收入高一百四十餘圓、支出高一百三十五圓餘ニシテ

出入相償ハ會計維持ノ難キ様ナラハ大隈其他、諸氏ヨリ予内餘ノ寄附ハアリシ為メ會計上大都合ナ

カリト雖今日此ノ三百五十圓ノ不足、生じシヨリ然レニ現今黨員千八百六十名アリ是ノ元資ヲ納ル

ハ是非原案ニ賛成トシタシ

秀島云 原案賛成者多キヲ以テ原案ニ決ス

同 二項ハ異論者ナレ依テ原案ニ決ス

島田云 三項中二十五錢ヲ三十錢ニ修正アリタシ

大養云 同項ハ從前、通リ會費五十錢ト定ム出席者ニ出スルニ決シタシ

秀島云 原案及ヒ而修正説共ニ賛成者同數ナラハ本條ハ確定議ニ迎スベシ

同 第四項ハ異議ナキ故ニ原案ニ決シ是ヲ確定議ニ送ルベシ

大岡云 規約十條中大會議ニ於テ出席員過半数ト改正シ但書ヲ加ヘ非常ノアルハ月次會若ハ臨時

會ニ於テ改正スルヲ得ト修正アラシムルヲ建議ス

秀島云 大岡ノ建議説ニ賛成者多キ故ニ同説ニ決ス

大養云 内規三項ハ前説ノ如ク決シラシムルヲ建議ス

秀島云 大養ノ説ハ同意過半数ナラハ出席者ニヨリ會費金五十錢ヲ懸亮トシ決ス

島田云 十八九ノ三項ヲ建議 第一本年ハ當會ヲ開キシハ四月ノ大會ヲ開ガルト 第二從前ノ會則ヲ全廢ス

ルト 第三當會ニ於テ事務委員ヲ投票スルト

秀島云 島田ノ建議説ニ異議ナキヲ以テ同説ニ決スハ依テ事務委員ノ投票ヲセラレヨ

同 事務委員ハ沼間、藤田、島田、真淵、尾崎、中野、肥塚、ハ七名投票多数ナルヲ以テ右七名ニ決ス

爰ニテ會議モトシテハ更ニ懇親會ヲ開ク 席上談話

島田云 今田地方員ノ上京アリシヲ幸ニ際テ余カ希望シ居ル我党ノ純領ヲ増加シ更ニ會ヲ開キ廣ク傍

聴ヲ許シ我党ノ秘密ニ事ヲ議セサルヲ世上ニ示シ傍ヲ運動ノ方ヲ附ケ亦我改進党ノ大演說會ヲ開

キ党首ヲ伸張シタシ

沼間云 規約ヲ議スルスラ多少ノ時間ヲ費スニ純領ヲ討議スルハ八十餘日モ掛リ遂ニ解散等ヲ命セラルトア

ハ我党ノ醜体ナリ依テ廢スベシ亦演說會ハ改進党ノ資格ナラハ不同意ナレト党員ノ資格ヲ以テスルナシ

ハ同意ナリ仍テ演說會ハ米ル廿二日ト定ム會主ハ中野、南、真淵、島田、カ然ルベシ

南云 島田ノ演說禁止中ナラハ會主トナレハ集會條例ニカテウ様ニ宜シカラサルハ同人ハ除クベシ

藤田云 地方党員ヨリ其地党報ヲ承リ度クハ明后十七日事務所ニ於テ談話會ヲ開クト酒宴畢テ午時同辭

島田云一今大隈諸氏の腹案云々

全力を盡したるに改選アリ即帝政黨ノ如キハ此黨ヲ政府ノ端ニシテラシムルモノナリ...

肥後云 既ニ在京員ハ一被ハ六ノケルルル地方党々...

在道云 最早脱走シ見者各々見テリレバ...

島田云 本州中地方ハ元軍帝政主義...

津雲 本信濃地方ハ非自信濃明...

肥後云 在地方党々より通信ノ事...

日香云 在地方党々ハ既ニ上申...

肥後云 若地方党々ハ既ニ上申...

即其他諸縣ノ上申...

修治云 在地方党々ハ既ニ上申...

肥後云 地方党々ハ既ニ上申...

日香云 在地方党々ハ既ニ上申...

其他雜誌ノ成シ...

このコマには文字の不
鮮明な部分がありますか
ら下記の原本をみて下さい

請求番号

2A 1 別 9

我党ハ多數ノ弱兵ヲ得シヨリハ寧ロ少數ニテモ強兵ヲ得シヨリト望ムルハ
 過失者アリテ党名ヲ汚ス云々ト云フモ彼令ハ今日政府官吏中職ヲ誤ルモノハ之ヲ免職シ是ハ政府ノ
 責任ヲ我党員モ之ノ同様ニテ我党ノ希望ニ背キ党名ヲ汚スル如キ行為アルモノハ除名スルノ党則ニテ改メテ
 我党ノ則チ我党ヲ汚スナシ然ルニ今無形ノ結合ト成リテ手只私交上ニ存スルモノナレハ甲ハ乙トテ
 我党ノモラルベシ然ルニ不都合トアラシニ甲モ通同シタルモノナレトノ嫌忌ヲ招クニ至ルニ其時ハ衆多ノ
 我党員ニハ甲ハ乙ト絶交シタリト報道スルカ到底ナシ得ルナレトスルノ論ニ采レハ大隈諸氏ハ徹頭徹
 尾辭入レテラサル拳動ニテ一年ニ國會開設ノ期ニ迫リ恰モ今日我党ノ苗ヲ培養スル秋ニ大隈諸氏ハ苗ヲ
 我党ノ折衝政変ノ苗ヲ植ヘタルモノナレハ大木トナス迄ハ飽迫メ培養スルノ意旨ナリ必ラス列席諸氏
 意旨ト思ハル亦余ハ河野氏ト俱ニ修進社ニ結ビ毎日面會スルモノトシハ余ク意ヲ極言シタルモ遂ニ納
 田中云 通常人ノ民間ニ在テ民権ヲ唱テ政府ニ入ハ官権ニ變スルニ大隈河野西氏ハ曩ニ廟堂ニ在テハ民権家ノ風
 余ノ民間ニ在テハ民権ヲ厭ハルノ風アリ實ニ稀ニ英雄ナルモ当令所見ヲ誤リ世上ノ笑ヲ被ラレハ余ク我
 國ニ堪ヘサル所ナリ只如何セシ一身ノ利害ニ為シテ我党ヲ汚レシトナリ

お国の系図を改めば
 其は多考古一供
 の治十七年十月
 初母終初授
 也

三 柳川 地 主 殿

六

警 視 廳